平成２９年度　第１回　野田市自転車等駐車対策協議会　次第

日　時　平成２９年　　５月　８日
午後　１時３０分から
場　所　市役所５階５１１・５１２
会議室

１　開　　会

２　議　　題

（１）清水公園駅の駐輪場整備について・・・・・**資料１**

（２）平成２８年度第１回自転車等駐車対策協議会で指示のあった追加資料について・・・・・**資料２**

３　閉　　会

資料１

（１）清水公園駅駐輪場整備について

イ）現地視察（13 時 30 分から 14 時 30 分）

鉄道事業者（東武鉄道㈱）より清水公園駅に有料の駐輪場を整備したい旨の相談を受けたことに伴い、清水公園駅における駐輪場整備の考え方や自転車等放置禁止区域の指定についてご審議をお願いします。

別紙整備計画参照

（公用車にて、清水公園駅東口、西口を視察）

メモ欄

ロ）需要台数の試算について

１）需要予測の考え方

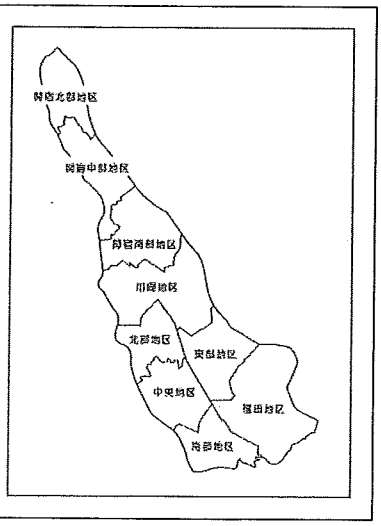
今後の需要予測の考え方については、野田市総合計画審議会で検討された人口推計結果を参考とし、利用者数を下記の考え方で試算しました。

平成２８年度からの野田市総合計画書（抜粋）

人口統計の推移から

１）清水公園駅は、中央地区内になります。

1	中央地区
2	東部地区
3	南部地区
4	北部地区
5	川間地区
6	福田地区
7	関宿北部地区
8	関宿中部地区
9	関宿南部地区



２）地区別の将来人口の推計表（土地区画整理事業の影響補正前）

地区/年度	27 年度	32 年度	37 年度	42 年度
中央地区	26,395 人	26,115 人	25,566 人	24,898 人

３）年齢区分別人口の構成比表（市内全体）

構成比	27 年度	32 年度	37 年度	42 年度
15～64 歳	59.7209%	57.2699%	57.3159%	56.9708%

２）試算について

試算式

自転車で駅を利用する対象年齢を１５～６４歳と想定し、総合計画の地区別将来人口に年齢区分別人口の構成比を乗じて、平成３２～４２年度までの人口を予測し駅自転車利用台数を試算しました

① 中央地区の年齢区分別人口予測

・２頁２）地区別将来人口×２頁３）年齢区分別構成比

例）26,395 人×59.7209%≒15,763 人

区分/年度	27 年度	32 年度	37 年度	42 年度
15～64 歳	15,763 人	14,956 人	14,653 人	14,185 人

② 中央地区の清水公園駅利用者

・清水公園駅利用者 4,507 人（東武鉄道㈱資料）/平成 27 年度中央地区年齢区分別人口 15,763 人≒28.59227%、①の人口予測に 28.59227%を各年度に乗じて清水公園駅利用者を求める

	27 年度	32 年度	37 年度	42 年度
予測人数	4,507 人	4,276 人	4,190 人	4,056 人

③ 清水公園駅自転車等駐車場利用台数

清水公園駅利用者予測人数②に、次の利用率を乗じて清水公園駅自転車等駐車場利用台数を求める

（東口：172 台(駐輪場台数)/4,507 人(駅利用者)＝3.81629%）

（西口：214 台(駐輪場台数)/4,507 人(駅利用者)＝4.74817%）

出口/年度	27 年度	32 年度	37 年度	42 年度
東　口	172 台	163 台	160 台	155 台
西　口	214 台	203 台	199 台	193 台

④ （東口）清水公園駅自転車等駐車場利用台数

清水公園駅利用者予測人数②に次の利用率を乗じて清水公園駅自転車等駐車場利用台数を求めた後、有料化に伴う影響（▲１０%）を反映させた

（東口：172 台(駐輪場台数)/4,507 人(駅利用者)＝3.81629%）

/年度	27 年度	32 年度	37 年度	42 年度
東　口	172 台	163 台	160 台	155 台
有料化に伴う響率反映後台数		147 台	144 台	140 台

⑤ （西口）清水公園駅自転車等駐車場利用台数

清水公園駅利用者予測人数（②）に次の利用率を乗じて清水公園駅自転車等駐車場利用台数を求めた後、増加要因（桜の里）を加え、有料化による影響（▲１０％）を反映させた

・増加要因

増加予測人数は、野田市総合計画書より

	27年度	32年度	37年度	42年度
桜の里	－	1,000人	2,000人	2,100人

・②の駅利用者率　28.59227％を増加要因人数に乗じる

駅利用者予測人数	286人	572人	600人

・自転車利用者率30％を駅利用者予測人数に乗じる

（国土技術政策総合研究所資料）

増加要因　自転車予測台数	86台	172台	180台

/年度	27年度	32年度	37年度	42年度
西　口	214台	203台	199台	193台
増加要因台数　反映後		289台	371台	373台
有料化に伴う影響率反映後		260台	334台	336台

３）試算結果について

（現状）

東口の無料自転車等駐車場は、駅舎上の市管理スペースと線路沿いの歩道を利用し、年間平均１日あたり利用台数１７２台（平成２７年度調査）が利用していましたが、東口の駅入り口自由通路裏の駐輪スペースや線路側歩道上に駐車する利用では駅周辺の景観を損なうため、平成２９年３月に東武鉄道㈱により有料駐輪場整備までの間、暫定施設の駐輪場を整備していただいて、その土地と駐輪場を市が借地し利用しています。

西口の無料自転車等駐車場は、平成１１年４月に東武鉄道㈱から借地し収容台数２５２台、年間平均１日あたり利用台数２１４台（平成２７年度調査）が利用している状況となっています。

（将来の傾向）

試算上、野田市総合計画の人口推移は将来減少する傾向とされておりますが、中央地区の人口推移は、土地区画整理事業の影響により増加傾向となります。

東口については、駅前は区画整理事業で開発が進んでいく状況となっておりますが、駅前以外では開発要因がないことから、今後、自転車の利用台数は減少傾向が見込まれます。

西口については、駅から約１．５ｋｍから２ｋｍ付近で土地区画整理事業（桜の里）による開発が進んでいることから、今後、自転車の利用台数は増加が見込まれます。

以上の条件を基に利用台数を試算した結果、下記の参考試算台数となりましたが、参考試算台数には明確な根拠と裏付けがあるものはないため、清水公園駅を利用する自転車等の予測台数を求めることは困難であり、あくまでも参考値となるものです。

参考試算台数

地区/年度	32 年度	37 年度	42 年度
東　口	147 台	144 台	140 台
西　口	260 台	334 台	336 台

（暫定自転車等駐車場整備）

東武鉄道㈱が駅前に有料駐輪場を整備することに伴い、現在、東西口に市が設置している無料駐輪場を移設する必要があることから、七光台駅・清水公園駅間の鉄道高架下を市が借地して一時的に駐輪場設置を予定しています。

また、東武鉄道㈱が駅前に有料駐輪場を整備する計画台数を超えた試算台数分は、清水公園駅の自転車等の利用が安定するまで、暫定自転車等駐車場で対応していく予定ですが、暫定自転車等駐車場整備については、別紙のとおり陳情書が提出されているため、地元との調整を行っていきたいと考えています。

なお、暫定自転車等駐車場につきましては、前回の協議会でもご説明させていただきましたとおり、基本的に駐輪場は有料化を推進することから、利用状況によって柔軟に対応することとし、３年から５年を目安に今後の利用については、協議会に諮っていきたいと考えています。

ハ）清水公園駅周辺の自転車等放置禁止区域について

清水公園駅周辺の自転車等放置禁止区域については、過去の経緯を基に放置禁止区域の目的・条件を踏まえて区域案（別紙）を作成しました。

◆区域案について
- 野田市駅、川間駅、梅郷駅と同様、駅を中心とした概ね半径４００ｍ以内を放置禁止区域として指定していることから、清水公園駅も同様に設定しました。
- 区域界としましては、道路を境界として設定しました。

〈参考〉

１．放置禁止の指定目的について

駅周辺における放置自転車は歩行車者や車両の通行の障害となり、また、救急・緊急活動に支障をきたし、まちの美観を著しく損なうなど市民活動に様々な弊害となっています。このため、野田市自転車等放置防止に関する条例に基づき、駅周辺の公共の場所を自転車等放置禁止区域に指定することによって、安全で住みよい生活環境を維持し、向上させることを目的としています。

２．放置禁止の指定目的について

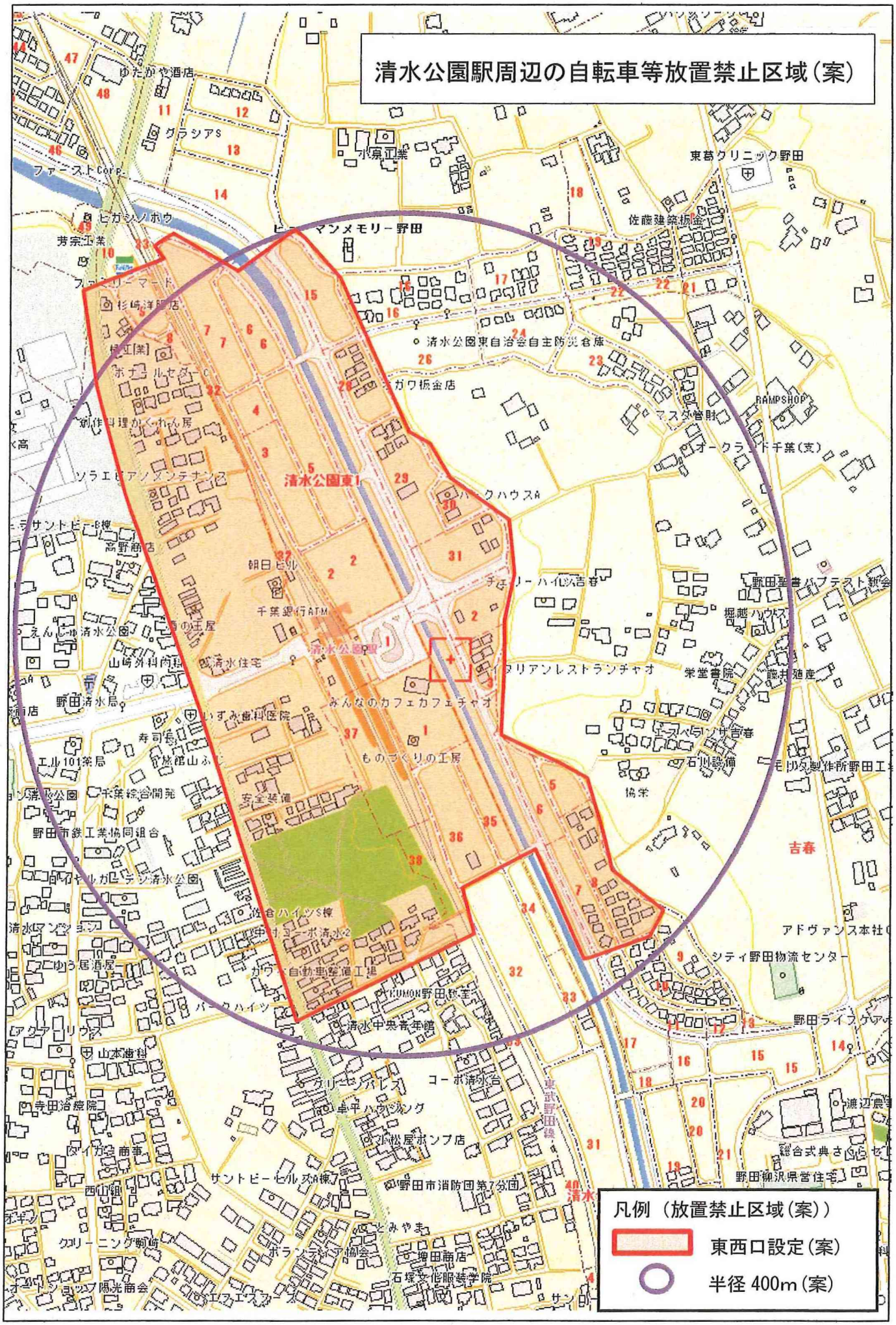
ア　放置禁止区域の条件について
放置禁止区域指定にあたっては、条例に基づき条件が示されています。また、過去の事例により検討し対応した事項があります。

〈条例による条件〉
自転車等駐車場が整備されている区域で、自転車等の放置により良好な生活環境が阻害されている区域。

〈これまでの放置禁止区域の指定範囲〉
○駅を中心に半径４００ｍを放置禁止区域とする。

イ　具体的な放置禁止区域について
現在、野田市自転車等放置防止に関する条例第７条に基づき、平成２年７月１日に川間駅周辺、平成２年８月１日に野田市駅周辺、平成２１年１２月１日に梅郷駅周辺を中心とした概ね４００ｍ以内の区域について指定しています。

清水公園駅周辺の自転車等放置禁止区域（案）



資料２

（２）平成２８年度第１回自転車等駐車対策協議会で指示のあった資料の報告について

イ）市営自転車等駐車場決算額（過去５年間）

[使用料]

駐輪場名	区分	平成２７年度	平成２６年度	平成２５年度	平成２４年度	平成２３年度
野田市駅市営第１自転車等駐車場 野田市駅市営第２自転車等駐車場	定期利用	４，７３２，１５０円	４，７１９，４４０円	４，７８７，６５０円	４，３３２，５００円	４，６５７，５００円
	一時利用	２，７５１，３００円	２，５９４，６５０円	２，７８０，３００円	２，７８９，６００円	２，７８０，７００円
	回数券	３１６，５００円	３４４，０００円	３４２，０００円	３６３，０００円	３２３，０００円
	計（①）	７，７９９，９５０円	７，６５８，０９０円	７，９０９，９５０円	７，４８５，１００円	７，７６１，２００円
川間駅南口市営第１自転車等駐車場	定期利用	１，５７６，４１０円	１，６１４，１５０円	１，４７６，０００円	１，５０７，０００円	１，５０３，０００円
	一時利用	１，３１０，６００円	１，２２３，２００円	１，１９６，６００円	１，０９４，６００円	１，１０４，２００円
	回数券	６７５，０００円	４７３，０００円	４４２，０００円	５３０，０００円	４２８，０００円
	計（②）	３，５６２，０１０円	３，３１０，３５０円	３，１１４，６００円	３，１３１，６００円	３，０３５，２００円
計（③=①+②）		**１１，３６１，９６０円**	**１０，９６８，４４０円**	**１１，０２４，５５０円**	**１０，６１６，７００円**	**１０，７９６，４００円**
梅郷駅東口市営自転車等駐車場	定期利用	６，５７１，２３０円	６，９２８，８２０円	７，４３９，０００円	６，６０２，０００円	６，６３１，５００円
	一時利用	８４６，４５０円	６８４，１５０円	７１７，１５０円	６８５，６５０円	６４８，３００円
	回数券	２８２，０００円	２７０，０００円	３６１，５００円	４０５，０００円	４１７，０００円
	計（④）	７，６９９，６８０円	７，８８２，９７０円	８，５１７，６５０円	７，６９２，６５０円	７，６９６，８００円
合計（⑤=③+④）：（A）		**１９，０６１，６４０円**	**１８，８５１，４１０円**	**１９，５４２，２００円**	**１８，３０９，３５０円**	**１８，４９３，２００円**

[指定管理料]

	平成２７年度	平成２６年度	平成２５年度	平成２４年度	平成２３年度
野田市自転車等駐車場指定管理料（B）	**２９，７１２，０００円**	**３１，３４３，０００円**	**２９，４２２，０００円**	**２９，４２２，０００円**	**２８，９３６，０００円**
内　野田市駅市営第１・２、川間駅南口市営	１２，２３１，０００円	１０，８００，０００円	９，４５０，０００円	９，４５０，０００円	９，４５０，０００円
内　梅郷駅東口市営	１７，４８１，０００円	２０，５４３，０００円	１９，９７２，０００円	１９，９７２，０００円	１９，４８６，０００円

[比較]

	平成２７年度	平成２６年度	平成２５年度	平成２４年度	平成２３年度
（A）－（B）	▲１０，６５０，３６０円	▲１２，４９１，５９０円	▲９，８７９，８００円	▲１１，１１２，６５０円	▲１０，４４２，８００円

ロ）無料自転車等駐車場に係る経費

① 管理経費

(歳入)

ありません

(歳出)

	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
整理業務委託	8,188,410円	7,891,104円	7,657,568円	7,581,536円	7,576,800円
	11施設：16人	10施設：16人	10施設：16人	10施設：16人	10施設：16人
草刈り業務委託	2,160,000円	1,674,000円	1,069,992円	991,368円	1,087,000円
	5施設：4回	5施設：3回	5施設：3回	5施設：3回	5施設：3回
土地借地料	3,824,256円	3,896,286円	3,902,152円	3,961,788円	4,133,982円
	3施設：5者	3施設：5者	3施設：5者	3施設：5者	3施設：5者
土地借地に伴う固定資産税免除	4施設：5者	4施設：5者	4施設：5者	4施設：5者	4施設：5者
電気料	平成28年度決算見込額は、250,000円の予定 平成27年度までは、市内の防犯灯の請求の中で一括して支払っていました				
	7施設	7施設	7施設	7施設	7施設
計	14,172,666円	13,461,390円	12,629,712円	12,534,692円	12,797,782円

② 撤去・移送経費

(歳入)

【移送料（強制撤去した自転車等を返還）】

		27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
自転車	台数	100台	139台	199台	173台	193台
	金額	162,000円	225,180円	312,430円	271,610円	303,010円
原付	台数	0台	0台	1台	0台	1台
	金額	0円	0円	3,150円	0円	3,150円
計（①）		162,000円	225,180円	315,580円	271,610円	306,160円

【売払料（引き取りのない自転車を売却）】

		27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
自転車	台数	786台	627台	846台	643台	157台
	金額	1,026,819円	609,748円	516,783円	294,180円	82,425円
原付	台数	2台	1台	3台	0台	0台
	金額	11,880円	4330円	2,625円	0円	0円
計（②）		1,038,699円	614,078円	519,408円	294,180円	82,425円

合計（③=①+②）	1,200,699円	839,258円	834,988円	565,790円	388,585円

(歳出)

【撤去移送業務（強制撤去：週１回、長期撤去：月１回）】

		27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
委託料（④）		2,340,144円	1,889,697円	1,837,206円	1,890,756円	2,030,805円
台数	強制撤去	265台	352台	490台	485台	510台
	長期撤去	430台	599台	493台	557台	654台
	計	695台	951台	983台	1,042台	1,164台

【返還業務（水から日曜日までの９時３０分から１６時まで】

	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
委託料（⑤）	1,477,448円	1,425,232円	1,394,245円	1,390,537円	1,385,851円

合計（⑥=④+⑤）	3,817,592円	3314,929円	3,231,451円	3,281,293円	3,416,656円

【自転車等１台当たりの経費】

(⑥-③) /撤去台数	3,765円	2,603円	2,438円	2,606円	2,601円

ハ）自転車等駐車場使用料助成金

	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
件　数	453件	463件	484件	493件	391件
金　額	1,297,380円	1,323,880円	1,397,750円	1,417,900円	1,147,350円

（目　　的）

野田市自転車等駐車場条例第２条に規定する市営の自転車等駐車場を使用する学生と民営の自転車等駐車場を使用する学生との料金負担の均衡を図るため、予算の範囲内において、民営の自転車等駐車場を使用している学生等に対し、助成金を交付することにより、自転車を利用する学生の利便性の向上及び修学上の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

（交付対象者）

助成金の交付対象者は、本市に居住し、かつ、住民基本台帳法に規定する本市の住民基本台帳に記録されている者であって、通学又は通園のため市内の最寄駅の民営の自転車等駐車場を１月単位として自転車の駐車のために使用する学生又は当該学生の保護者とする。

１．内容

市営駐輪場で学生料金の引き下げを行うことに伴い、市内の民営駐輪場を利用する学生との間の使用料負担の公平を確保するため、民営駐輪場を使用する学生について、市営駐輪場の料金との格差について直接助成する制度を創設。

[経緯]

平成１５年度に、市営駐輪場の学生料金を１，５００円/月に設定し、差額が生じる民間駐輪場を利用する学生へ助成金額を５００円とした。

その後、平成２１年１２月１日に梅郷駅東口市営自転車等駐車場の供用開始に伴い、野田市駅及び川間駅の市営自転車等駐車場の使用料金を引き下げた。

○４月から９月分について、１０月申請受付、１０月から３月分について４月申請受付。

○平成２１年１２月１日より使用料金を改定したことから、平成２１年１２月分からは、民間駐輪場の月額使用料が５００円を超える場合を対象とした。

○平成２６年４月１日消費税増税に伴い、市営自転車等駐車場学生使用料見直し（５１０円）により民間駐輪場の月額使用料１，０１０円を超える場合は、５００円の助成。１，０１０を超えない場合は、その月額使用料から５１０円を差し引いた額を対象とした。

ニ）各駅の利用状況

① 市内各駅乗降人数

	駅名		乗降人数（1日平均）				
			27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
1	川間駅	人数	17,310	17,322	17,982	18,067	18,058
		前年比	▲12	▲660	▲85	9	－
2	七光台駅	人数	6,689	6,387	6,253	5,811	5,301
		前年比	302	134	442	510	－
3	清水公園駅	人数	4,507	4,208	4,085	4,102	3,871
		前年比	299	123	▲17	231	－
4	愛宕駅	人数	9,626	9,487	9,445	9,320	9,188
		前年比	139	42	125	132	－
5	野田市駅	人数	10,293	10,361	10,511	10,420	10,081
		前年比	▲68	▲150	91	339	－
6	梅郷駅	人数	16,689	16,485	16,567	16,217	15,960
		前年比	204	▲82	350	257	－
計		人数	65,114	64,250	64,843	63,937	62,459
		前年比	864	▲593	906	1478	－

資料：東武鉄道㈱ホームページより

※アンダーライン数値が、過去５年間の最高値

② 無料自転車等駐車場利用台数

	駅名		利　用　台　数（1日あたり）				
			27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
1	川間駅	北口	39	36	44	65	71
		南口	－	－	－	－	－
2	七光台駅	東口	125	153	152	109	152
		西口	713	764	743	683	694
3	清水公園駅	東口	172	175	174	154	167
		西口	214	242	253	277	269
4	愛宕駅	東側	660	837	870	898	771
		西側	657	617	610	688	665
5	野田市駅		142	140	151	138	163
			－	－	－	－	－
6	梅郷駅	東口	－	－	－	－	－
		西口	2,281	2,299	1,998	2,106	2,026

※アンダーライン数値が、過去５年間の最高値

③ まめバス時刻表（清水公園駅）

清水公園駅　東口

中ルート（左回り）
欅のホール・市役所方面

	平日	土・日・祝
7時	48	土・日・祝日は運行しません。
8時		
9時		
10時		
11時	09	
12時		
13時		
14時	13	
15時		
16時		
17時	34	
18時		
19時		

中ルート（右回り）
イオンタウン方面

平日	土・日・祝
	土・日・祝日は運行しません。
53	
58	
18	

清水公園駅　西口

北ルート
市役所行

	平日	土・日・祝
7時		
8時	24	24
9時	42	39
10時		
11時	17	04
12時	31	24
13時		
14時	21	04
15時	34	19
16時		34
17時	15	
18時	14	04
19時	45	

関宿中央ターミナル行

平日	土・日・祝
18	13
55	28
	53
06	
49	38
	53
14	
23	08
	33
04	53
03	

参考資料１

東武鉄道㈱が整備する有料駐輪場整備計画

① 東口駐輪場について

整備区域	野田市清水公園駅東一丁目２番１の一部
敷地面積	４７４５．０２㎡のうち３９９．０２㎡
収容台数	２０５台
利用形態	定期利用１４０台
	一時利用（自転車）６０台
	一時利用（バイク）５台
整備仕様	ラック式（ロック付）

② 西口駐輪場について

整備区域	野田市清水３８５番地２他
敷地面積	２７６．４７㎡
収容台数	２０７台
利用形態	定期利用１４０台
	一時利用（自転車）６０台
	一時利用（バイク）７台
整備仕様	ラック式（ロック付）

③ 施設平面図　　別紙

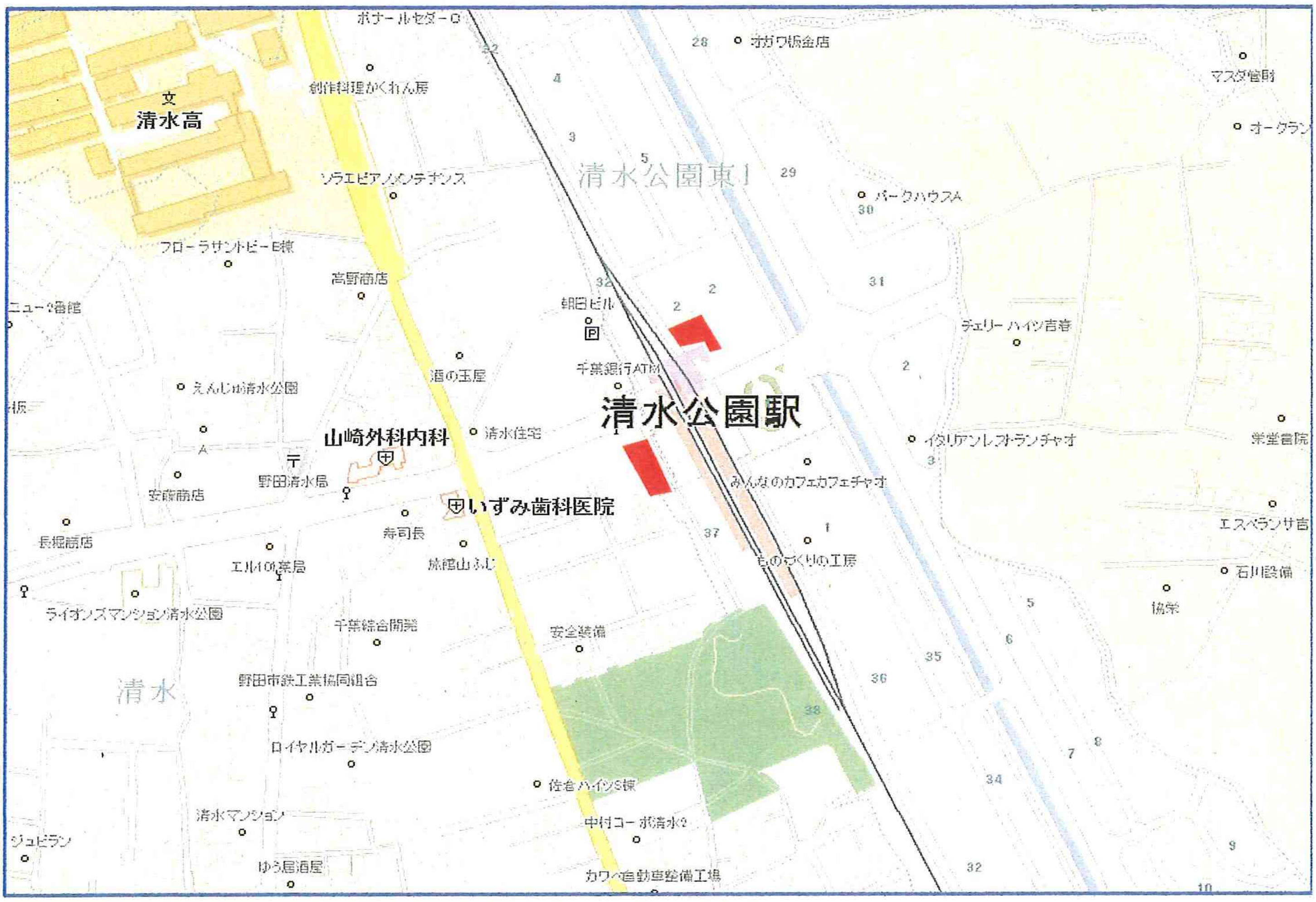
④ 利用料金について

定期利用料金：月/２，０００円程度の料金設定

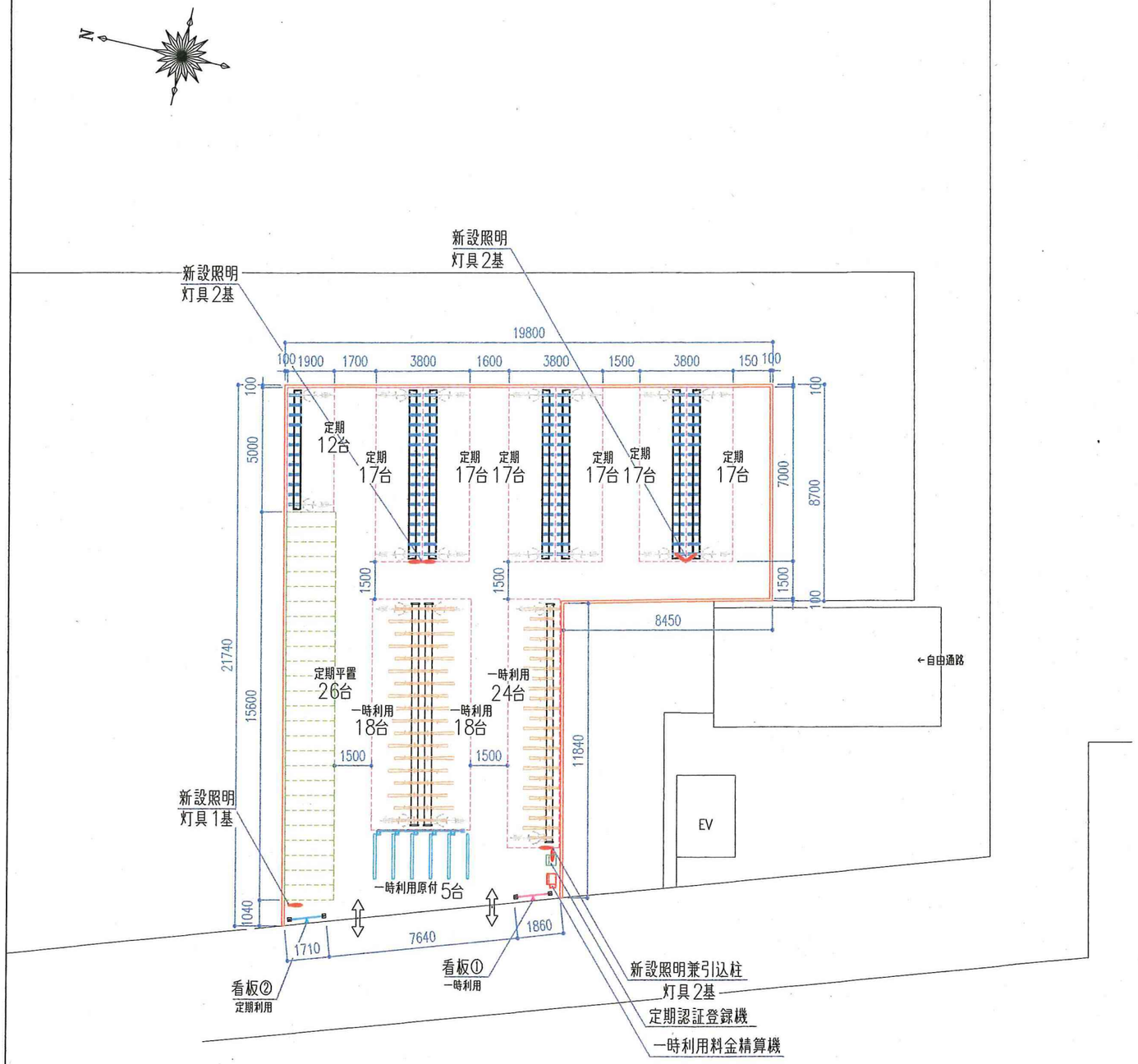
一時利用料金：１回１００円（パスモ利用時８０円）

⑤ その他　　収納台数については、利用状況により定期利用台数と一時利用台数は増台可

■案 内 図



清水公園駅
清水公園東1
清水高
清水
山崎外科内科
いずみ歯科医院
朝日ビル
千葉銀行ATM
野田清水局
みんなのカフェカフェチャオ
ものづくりの工房
寿司長
高野商店
安全装備
千葉総合開発
ライオンズマンション清水公園
野田市鉄工業協同組合
ロイヤルガーデン清水公園
清水マンション
ゆう居酒屋
中村コーポ清水2
カワベ自動車整備工場
パークハウスA
チェリーハイツ吉春
イタリアンレストランチャオ
エスペランサ吉
石川設備
オガワ板金店
マスダ管財
安藤商店
長堀商店
創作料理かくれん房
フローラサントピーB棟



収容台数

種別	台数	備考
定期自転車	140台	
一時自転車	60台	
一時原付	5台	
合計	205台	

凡例 ※特記なきものは下記の通りとする。

記号			名称
			簡易ラック（定期自転車用）
設置間隔	角度	台数	備考
400mm	90°	114台	
合計		114台	

記号			名称
			Bロック（一時自転車用）
設置間隔	角度	台数	備考
400mm	90	24台	
500mm	90°	36台	
合計		60台	

記号			名称
			白線引き（定期自転車用）
設置間隔	角度	台数	備考
600mm	90°	26台	
合計		26台	

記号			名称
			GBロック（一時原付用）
設置間隔	角度	台数	備考
750mm	90°	5台	ライン色：白
合計		5台	エンドパイプ：1本

記号		名称
		EPL500RL（認証登録機）
仕様		備考
基数	1基	親機
遠隔操作装置（有線）	0基	
遠隔操作装置（無線）	1基	

記号		名称
		ES500PaT（料金精算機）
仕様		備考
基数	1基	子機
遠隔操作装置（有線）	0基	
遠隔操作装置（無線）	0基	
ICカード対応	有	PASMO
IC通信装置（有線）	0基	
IC通信装置（無線）	1基	
磁気カード対応	無	
デジタルサイネージ対応	無	
テント	有	
MKY-HUB基板	無	
パンクプロテクター	無	

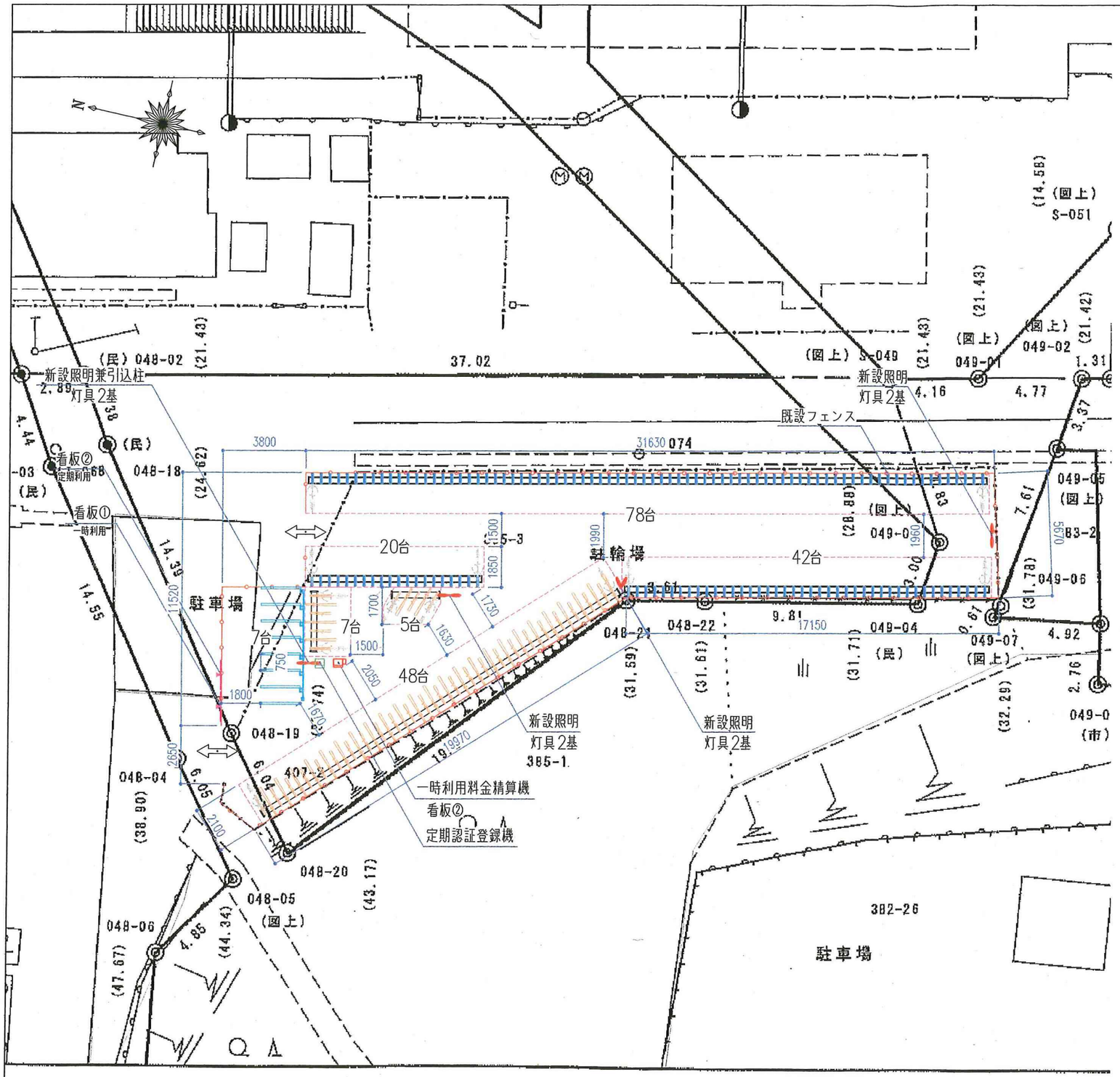
記号		名称
		規約/案内看板

No.	サイズ	種別	片/両	基数	備考
①	本体：W1450×H2000 盤面：W1350×H900	自転車 バイク	片面	1基	横型/自立 埋込み式
②	本体：W1450×H2000 盤面：W1350×H900	自転車 定期利用	片面	1基	横型/自立 埋込み式
③					
④					

	新設照明	NNY20465-LE1(7基)
	新設柱	4基
	外周単管パイプ	

駐輪場全体面積:314.17㎡

特記事項	※台数およびレイアウトは測量後の確定とさせていただきます。	修正事項		東武プロパティーズ株式会社	営業	設計	工事名	仮称）TOBU PARK 清水公園駅東口駐輪場	図番	161007AU-9
					縮尺	1/200	図面名	平面配置図③	作成日	2017.01.19



収容台数

種別	台数	備考
定期自転車	140台	
一時自転車	60台	
一時バイク	7台	
合計	207台	

凡例　※特記なきものは下記の通りとする。

記号	名称
	簡易ラック（定期自転車用）

設置間隔	角度	台数	備考
400mm	90°	140台	
合計		140台	

記号	名称
	EPL500RL（認証登録機）

仕様		備考
基数	1基	親機
遠隔操作装置（有線）	0基	
遠隔操作装置（無線）	1基	

記号	名称
	規約/案内看板

No.	サイズ	種別	片/両	基数	備考
①	本体：W1450×H2000 盤面：W1350×H900	自転車	片面	1基	横型 フェンス付
②	本体：W1450×H2000 盤面：W1350×H900	自転車	片面	1基	横型 フェンス付

	新設照明	NNY20465-LE1(8基)
	新設柱	4基
	新設フェンス	H1800

駐輪場面積：276.47㎡

記号	名称
	Bロック（自転車用）

設置間隔	角度	台数	備考
375mm	60°	5台	
400mm	90°	55台	
合計		60台	

記号	名称
	GBロック（バイク用）

設置間隔	角度	台数	備考
750mm	90°	7台	
合計		7台	

記号	名称
	ES500PaT（料金精算機）

仕様		備考
基数	1基	子機
遠隔操作装置（有線）	0基	
遠隔操作装置（無線）	0基	
ICカード対応	有	PASMO
IC通信装置（有線）	0基	
IC通信装置（無線）	1基	
磁気カード対応	無	
デジタルサイネージ対応	無	
テント	有	
MKY-HUB基板	無	
バンクプロテクター	無	

記号	名称
	ガードパイプ

サイズ	本数	備考
W2000	2本	埋め込み式

特記事項：※台数およびレイアウトは測量後の確定とさせていただきます。

修正事項：

東武プロパティーズ株式会社

営業　設計　尺度：1/200

工事名：仮称）TOBU PARK 清水公園駅西口駐輪場

図面名：平面配置図③

図番：161007AU-8

作成日：2016.12.26

参考資料２

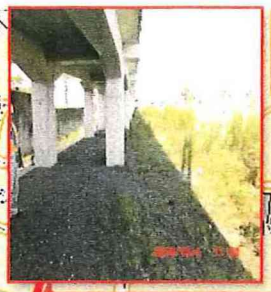
暫定自転車等駐車場整備（案）

駅前に有料駐輪場を整備するに伴い、現在の利用台数を一時的に退避する駐輪場が必要となるが、駅周辺には市の土地がないことから、清水公園駅から約４００ｍ離れた場所（七光台から清水公園間高架下）を東武鉄道㈱より土地を借地し暫定自転車等駐車場を一時的に整備する。

暫定自転車等駐車場について

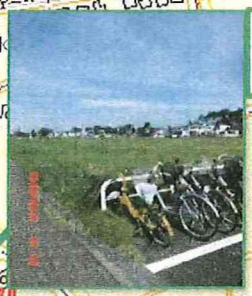
整備区域	野田市清水公園駅東一丁目３２番地３及び３２番地２の一部
敷地面積	約４８８㎡
収容台数	２５０台
位 置 図	別紙

暫定自転車等駐車場整備（案）



暫定自転車等駐車場
（市　整備予定地）

（東武鉄道㈱整備予定地）
有料駐輪場



東口無料駐輪場

西口無料駐輪場

（東武鉄道㈱整備予定地）
有料駐輪場

凡例

- 無料駐輪場整備予定地
- 有料駐輪場整備予定地
- （現）無料自転車等駐車

Copyright(C)2016 ZENRIN CO., LTD.

参考資料３

清水公園鉄道高架下駐輪場建設について陳情書

平成２９年４月１８日付けで、清水公園鉄道高架下駐輪場建設について陳情書が提出されましたのでご報告いたします。

内容については、別紙写しのとおりです。

清水公園鉄道高架下駐輪場建設について陳情書

平成29年4月18日

野田市長　鈴木　有　様

陳情者代表 [redacted]

趣旨及び理由

私たちは、閑静で不安のない環境を求め清水公園東一丁目に永住することを決意し住はじめました。

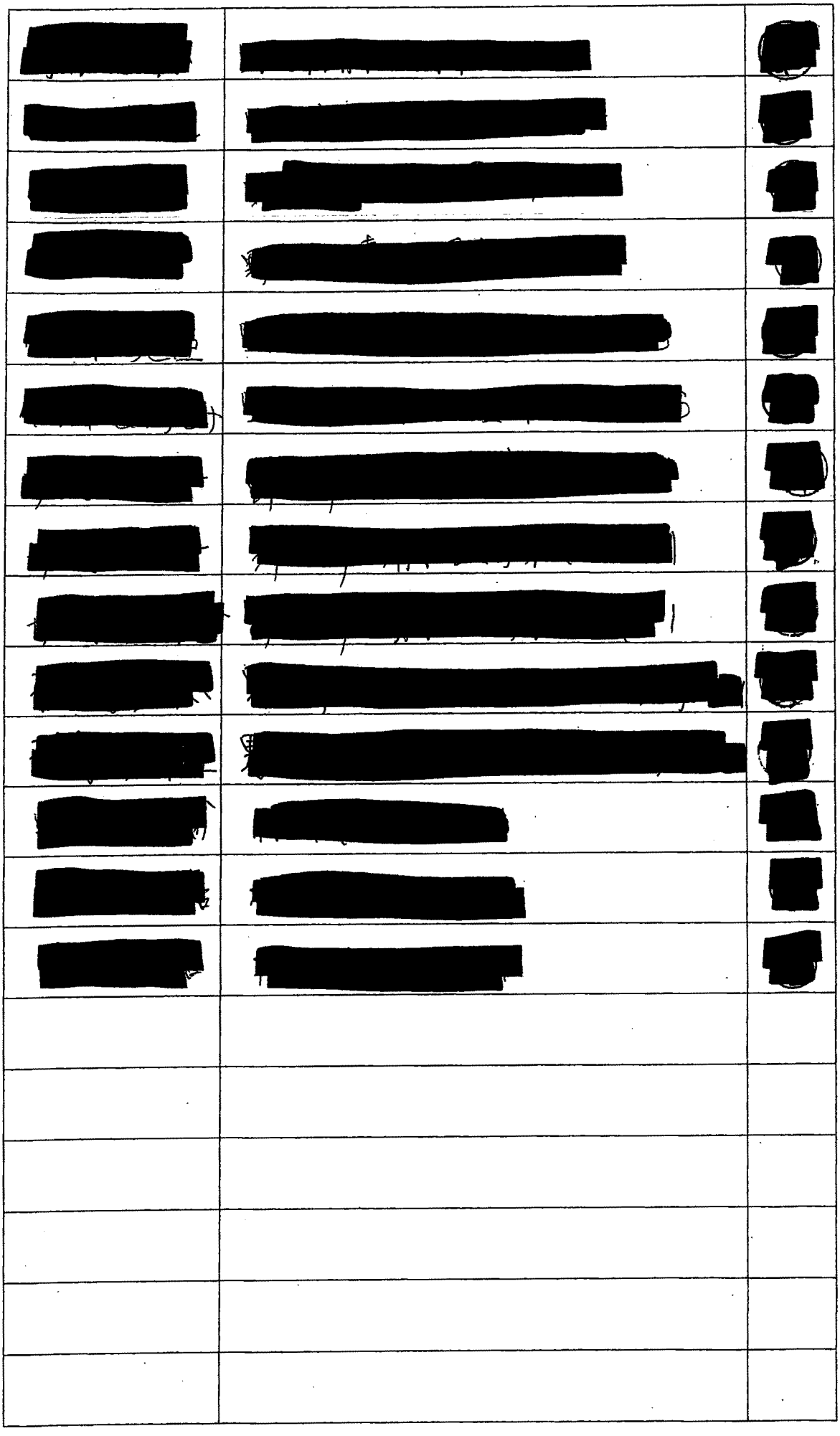
高架下に駐輪場を施工された際には、何十人何百人もの人々が昼夜問わず出入りする事となるでしょう。

２９年２月に盗難事件があった事もあり、近隣住民は非常に敏感になっています。

騒音、環境のみだれに不安、恐怖すら感じられます。

したがって高架下駐輪場建設に反対したい所存ではありますが、他に建設場所がないならば、下記の事項を要望します。

1　清水公園駅寄りに最小限の規模にすること。
2　西側(清水高校側)に出入り口をつけないこと。
3　目隠しをすること。
4　整理整頓すること。
5　整備員を一日、四時間以上常時すること。
6　苦情は速やかに対応すること。

署名

氏名	住所	印
[redacted]	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]